

令和6年7月24日



担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

①

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O103）
患者	和歌山市内在住 10歳未満 男性
届出年月日	令和6年7月18日
経過	7月10日（水）下痢 7月11日（木）血便 医療機関受診 検便 7月18日（木）検便の結果 O103ペロ毒素（+） 主治医から届出 現在、症状は治まっています。

②

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O103）
患者	和歌山市内在住 20歳代 男性
届出年月日	令和6年7月23日
経過	①の同居者 無症状 7月23日（火）接触者検便の結果 O103ペロ毒素（+）

③

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O103）
患者	和歌山市内在住 10歳未満 女性
届出年月日	令和6年7月23日
経過	①の同居者 無症状 7月23日（火）接触者検便の結果 O103ペロ毒素（+）

プライバシーの保護については、十分なご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和6年7月23日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和6年	5名（2名無症状者含む）	9名（4名無症状者含む）	本患者含む
令和5年	15名（3名無症状者含む）	21名（3名無症状者含む）	
令和4年	14名（6名無症状者含む）	16名（6名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生する感染症ですが、特に夏季に多いです。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきる等の注意が大切です。
- ・特に、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないようにしてください。
- ・小さなお子さんや高齢者は、感染した場合、発病しやすいので注意が必要です。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。